



歩こうかい 5月例会(通算 403回)



愛三岐地区サロン合同企画・ 軽便鉄道と昭和の町

2025年5月7日(水)

天気: 晴れ 参加者 10名 <21,000歩>

三岐鉄道西桑名駅—— 楚原駅…ねじり橋…めがね橋…あみづか 麻績塚古墳・久保院八十八ヶ所…

ばんりょう 萬笑院(昼食)…(麻生田駅)…員弁川散歩道…昭和の町並み…とうりん 桐林館…阿下喜駅—— 西桑名駅

初めてとなる愛三岐地区サロンと合同で行った例会は、朝から青空が広がる上天気となった。

全国でわずか3路線のナローゲージは新幹線の半分程の幅で、向かい合って座ると通路は1人通れる程と狭い。

楚原駅を出発し住宅地を抜けると、ほどなく江戸時代に作られた六把野井水(ろっぱのゆすい)に架かる「ねじり橋」に着く。この構造は「ねじりまんぼ」といい、現存するコンクリートブロック製の橋では唯一といわれ、土木遺産に指定されている。又、その先には撮影スポットとして人気の「めがね橋」があり、1時間に1本の列車を待ってカメラに収める。



ナローゲージの三岐鉄道北勢線車内



土木遺産・ねじり橋



めがね橋を通過する三岐鉄道



鈴鹿山脈の頂上付近は雲に覆われている

鈴鹿の山々や田園風景を眺めながら線路に沿って30分程歩くと、約90mの河岸段丘に築かれた麻績塚古墳・久保院八十八ヶ所に着く。あまり人が通らないのか、案内板付近は草に覆われ入口が分かりにくい。古墳は2つあり、1号墳は北勢地方唯一の前方後方墳、2号墳は円墳で、4世紀頃に作られたと言われている。



麻績塚古墳・久保院の案内板



枯れ葉に覆われた斜面を上り麻績塚古墳へ

再び線路沿いの道に入ると鈴鹿山脈は稜線を表し、雄大な景色を眺めながら昼食場所の萬笑寺へ。



雄大な鈴鹿山脈・右端が藤原岳



約100段の石段を上り萬笑院へ



員弁川河畔を吹き抜ける風は強く、身体が揺れる程だが、おかげで強い陽射しでも大汗をかくことなく約9Kmを完歩し阿下喜に到着。懐かしい景観が残る町並みを歩き、桐林館で記念写真を撮る。

桐林館は昭和12年(1937)に阿下喜町立尋常高等小学校校舎として建設され、国登録有形文化財(建造物)に指定されている。

阿下喜駅から北勢線で西桑名駅まで戻り、駅横のロッテリアで歓談の後帰路に就く。



風で帽子が飛ばされないよう押さえて歩く



阿下喜・昭和の町並み



桐林館・旧阿下喜小学校

記: 奥村正忠